



## 九谷焼ウルトラマンシリーズお披露目式・ 展覧会を開催しました



左から井出市長、福島さん、武腰さん、山田さん 左から福島さん、武腰さん、山田さんの作品 宇宙をイメージした展覧会場

5月2日、能美ふるさとミュージアムで、九谷焼ウルトラマンシリーズの新作3体お披露目式を開催しました。式では、井出市長が「ウルトラマンが実在していたら、コロナ禍で苦しむ地球をどうやって救っていたか。見る人が想像を膨らませ、元気をもらう機会になってほしい」とあいさつし、続いて新作3体に絵付けを施した能美市在住の九谷焼作家 福島武山さん、武腰潤さん、山田義明さんが作品への想いを語りました。式後には、新作3体のほか、過去に制作した23点が一堂に会する展覧会をオープンし、宇宙をイメージした会場の中で家族連れなどが九谷焼とウルトラマンシリーズのコラボレーションを楽しんでいました。

### 新作の3作品を紹介します

#### 福島武山さん作 ウルトラマンタロウ



##### 福島さんのコメント

フィギュアの絵付けはこれまでも色々としてきましたが、この仕事はすごく楽しいです。今回はコロナ禍の落ち込んだ世の中を明るくしてほしいという想いを込めて、一生懸命作りました。



#### 武腰潤さん作 ウルトラマンゼロ



##### 武腰さんのコメント

どう絵付けしようかと悩みました。本物のウルトラマンは、陶器ではなく生きていますので、同じように「命」を吹き込めないかなと思い、目を描き入れました。まつ毛を入れたのが正しかったのかは分かりません。



#### 山田義明さん作 ウルトラマンティガ



##### 山田さんのコメント

ウルトラマンティガはイケメンな正義の味方なので、いかにイイ男に描くかを意識しました。悪者を打ち倒すため、宇宙からのエネルギーを蓄えているイメージで、頭部には金の稲妻が入っています。



## 功績をたたえて 春の叙勲

4月29日付で発表された「春の叙勲」では、市内から福島武山さん、金田清さん、徳田外茂次さん、道井富美雄さんの4人が受賞されました。

### 瑞宝単光章 福島武山さん (佐野町)



九谷焼の赤絵細描を受け継ぐ第一人者として、緻密さと華麗さを持つ作品で高い評価を得られ、九谷焼の伝統的技法の継承と発展、新風を吹き込む後継者の育成に尽力されました。

受賞に際し、「皆さまにご指導いただきながら、一筋の道を歩んでこられたことに感謝いたします。今後も励んでまいります」と述べられました。

### 瑞宝双光章 徳田外茂次さん (泉台町)



37年にわたり、公立小中学校の教諭、校長として精励されました。辰口中央小学校や根上中学校の校長も歴任され、次代を担う子どもたちの健やかな成長に貢献されました。

受賞に際し、「急激な時代の変化の中で、仕事を務められたのは、職員、教育委員会、PTAなど、皆さまの支えとチームワークのおかげと感謝し、御礼申し上げます」と述べられました。

### 旭日双光章 金田清さん (小長野町)



県立高校の教諭を経て、県教育委員会参事、県教育委員長として、教育行政に尽力されました。能登地区の高校再編整備事業や女性管理職の登用などに携わってこられ、現在は、北陸大谷学園副理事長として、地域の教育振興に努められています。

受賞に際し、「これまでの、皆さまのご指導ご支援に感謝し、これからも人材育成に励んでまいります」と述べられました。

### 瑞宝双光章 道井富美雄さん (大長野町)



戦闘機部隊の勤務や航空学生への育成などに長年尽力されました。北部航空方面隊司令部で演習計画などの立案に携わり、航空自衛隊第6航空団司令部監理部長などを務められ、防衛分野に貢献されました。

受賞に際し、「防衛担当者として、これまでの努力を認めていただき、非常に感謝しております。皆さまには自衛隊を心から信頼していただきありがとうございます」と述べられました。

春の褒章

藍綬褒章 畠山ひろ美さん（大成町）



4月28日付で春の褒章受章者が発表され、市内からは、畠山ひろ美さんが藍綬褒章を受章されました。畠山さんは、労働力調査員をはじめとする各種統計調査員として30年以上にわたり業務に従事し、統計調査の円滑な実施に貢献されました。

受章に際し、畠山さんは「調査活動の環境が厳しくなってきた中、苦勞もありましたが、地道に続けてきたことが、このような栄えある褒章につながり、大変身に余る光栄です。一層心してご芳情に報いたいと存じます」と述べられました。

危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章 西正隆則さん（大浜町）



4月10日付で発表された「危険業務従事者叙勲」では、市内からは元准空尉西正隆則さんが瑞宝単光章を受章されました。西正さんは、航空自衛隊小松基地等で35年勤められ、防衛分野に尽くされました。また、日本航空123便墜落事故やナホトカ号重油流出事故などの災害派遣にも尽力されました。

受章に際し、西正さんは「無事定年を迎えられたのは、妻をはじめ周りの方々のおかげです。ありがとうございました」と述べられました。

懸垂幕を掲げてPR 民生委員・児童委員活動強化週間

能美市民生委員・児童委員協議会は、5月6日「民生委員・児童委員の日」活動強化週間（5月12日～18日）に合わせて、懸垂幕を市役所に設置しました。民生委員・児童委員は、地域で高齢者や障がいのある方などが、安心して暮らせるよう見守りや安否確認などを行っています。同協議会会長の生田絹代



民生委員・児童委員の皆さん

さんは、懸垂幕の設置について「地域の身近な存在である民生委員・児童委員をPRする良い機会となりました。これからも市民の皆さんに民生委員・児童委員を知ってもらえるように活動していきたい」と話しました。

いしかわ・金沢

風と緑の楽都音楽祭2021 in能美

4月25日に根上総合文化会館で、「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2021 in能美」を開催しました。当日は新型コロナウイルス感染症対策を講じた上、「アキユ サクソフオンカ ルテットと南欧の風にのせて」をテーマに、能美市観

光大使の中田真砂美さんをはじめとした4人のサクソフォン奏者が、ヴィヴァルディ「四季」やビゼー「カルメン」を演奏し、美しい音色で会場を魅了しました。またジブリ音楽や人気アニメ曲の演奏の際には、会場が楽しい雰囲気になりました。



美しい四重奏が奏でられました

我が事・丸ごと防災プロジェクト 映画「西原村」上映会を行いました

4月29日、防災センターで、映画「西原村」の上映会を行いました。この映画は、熊本地震で被害を受けた西原村の復興の様子をドキュメンタリーで伝えるもので、住居を失った西原村の住民が震災後も同じ場所に住み続けるかなどの葛藤が描かれています。映画を鑑賞した来場者は、「復興に携わる問題点などに視点があられて良かった」「被災した村の方の集落再生に対する思いや、行政の方の熱い思いが生の声として伝わってくる素晴らしい作品でした」と話していました。



上映会の様子

市消防団が総務大臣感謝状および消防団等地域活動表彰授与を伝達

市消防団が、総務大臣感謝状および消防団等地域活動表彰を授与しました。市消防団は、機能別分団を発足させるなど、消防団員増加に向け様々な取り組みを行っており、その結果、機能別分団に18人、基本団員として12人が消防団に入団し、合計で30人が入団するという大幅な人員増加となりました。こうした取り組みが評価され、今回の授与につながりました。



井出市長、番匠副市長へ伝達しました。

「八幡のすしべん」で「のみブランド」を販売開始

4月26日、能美根上スマートインターチェンジ近くに「八幡のすしべん」がオープンし、初日から大勢の地元住民にぎわいました。店内には、市の優れた商品・特産品、製品等として認証された「のみブランド」のコーナーが設けられ、丸谷焼や国造ゆずの加工商品等14品目が並べられたほか、いしかわ動物園や辰口温泉、能美ふるさとミュージアムといった市内への観光を促すパネルも設置されました。「八幡のすしべん」との協力により、市内への誘客促進や地域活性化が期待されます。



テラカットの様子

店内の「のみブランド」販売コーナー

## 東京ドロウイング株式会社 音案内装置10台を寄贈

東京ドロウイング株式会社から能美市へ、手指消毒の注意喚起などを音声と光で伝える装置「ソレイジー・コロポ」10台を寄贈いただきました。

4月28日、小宮純一社長が市役所を訪れ、井出市長に寄贈品を手渡しました。井出市長は「施設等に設置し、感染拡大防止に役立ちます」とお礼を述べました。



左から小宮社長、井出市長

## 株式会社歯愛メディカルが 検温を行うモニター3台を寄贈

株式会社歯愛メディカルから能美市へ、A1による顔認証で検温を行うモニター3台を寄贈いただきました。

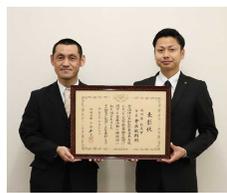
4月30日、清水清人社長が市役所を訪れ、井出市長に寄贈品を贈りました。井出市長は「施設やイベント会場などで感染防止対策に役立てたい」とお礼を述べました。



左から清水社長、井出市長

## 大規模自然災害支援活動に対して 環境大臣表彰を受けました

令和元年10月12日の台風19号に伴う豪雨で、環境省からの緊急応援要請を受け、市職員の本哲平業務主任と荒井道久主事が、10月29日から11月2日までの5日間、長野県上高井郡小布施町で災害廃棄物の分別作業に従事しました。それを受けて、先日、市長に対して環境大臣表彰があり、4月21日に、受賞報告会を行いました。報告会では井出市長が、本業務主任と荒井主事をねぎらった後、「今後も災害支援活動を引き続き行っていきたい」と思いを述べました。



左から本業務主任、荒井主事

**従事した職員のコメント**  
現地の方は大変なところ、私たちに親切にしてください、報道で見ると、報告で見るよりも、学ぶことがたくさんありました。行ってよかったです。(本)

現場の惨状を見て本当にショックを受けました。支援活動を通して、良い防災の意識も上がりました。良い経験になりました。(荒井)



災害廃棄物の分別作業の様子

## 祝百寿 宮本さん おめでとーございませう

4月11日、宮本和江さん（緑が丘）がめでたく100歳を迎えられ、能美市からお祝い状と記念品を贈りました。

宮本さんは「昭和58年に緑が丘に引っ越して来てから、近所の方にもよく声をかけていただき、楽しく過ごしてきました。長生きしたおかげで、ひ孫にも会うことができました。無事に100歳を迎えることができ、感謝しております」とコメントをくださいました。



100歳を迎えられた宮本さん

## 祝百寿 沖田さん おめでとーございませう

4月23日、沖田みよ子さん（大浜町）がめでたく100歳を迎えられ、能美市からお祝い状と記念品を贈りました。

沖田さんは、若いころから様々な季節の花を栽培する趣味を持っており、日々の食事はどんな食べ物でも好き嫌いなく、小魚は骨まで食べるそうです。地域の体操教室に通い、心身共に充実した生活を送っていたことが、長寿と元氣につながっているとお聞きしました。



100歳を迎えられた沖田さん

## 移住定住促進に向けて金融機関3社と 相互連携協定を締結

4月30日、市は株式会社北國銀行、はくさん信用金庫、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と移住定住の促進に向けた相互連携協定を締結しました。

地方銀行、信用金庫、損害保険会社が業態を超えて連携を図る例は珍しく、いずれも移住定住促進に特化して自治体と協定を結ぶのは県内初となります。

市では、今回の協定締結を機に庁内に部局横断型の移住定住促進プロジェクトチームを立ち上げ、今後、3社から人材支援並びに専門知識・知見の提供を受けながら取り組んでいく予定です。

井出市長は「市はすべての施策を移住定住に結びつける方針でまちづくりを進めている。全庁一丸となつて取り組んでいきたい」と決意を述べました。



左からあいおいニッセイ同和損害保険㈱の石原北陸本部長、(株)北國銀行の中田取締役常務、井出市長、はくさん信用金庫の石田理事長

## 福島こども園起工式

4月1日から能美市で初の民営の幼保連携型認定こども園「福島こども園」がスタートしました。

4月26日、福島グランパーク内で「福島こども園」の園舎新築工事の安全祈願祭・起工式が執り行われ、工事の安全と無事完成を祈りました。

また、新園舎は木材を多用するほか、室外遊びに重点を置いた運営方針に基づき、園庭に、遊具の設置も含め様々な工夫を施す予定で、令和4年1月末の完成を目指しています。



起工式の様子